

ニュージーランド便り NO.54

こんにちは！この冬(ニュージーランドの7~8月)に産まれた子羊たちが元気いっぱい走り回る姿をあちこちで見かけるようになりました。

ニュージーランドといえば羊のイメージが強いと思いますが、本当に羊がいっぱいです。私の職場にも、入居者のご家族がペットラム(ペットとしての子羊)を連れて遊びに来られ、とても人懐こい子羊を撫でながら、ニュージーランドらしいあとおほのぼのとなりました。

こちらでは夏に向けて9月末からデイトセービングが始まりました。太陽が出ている明るい時間を有効活用するため、時計を1時間進める制度です。このデイトセービング中は日本との時差が1時間延びて4時間となります。土曜日の夜に1時間時計を進めて寝ましたが、朝起きると、電子レンジ、オーブン、車の中、あらここにも時計があった、と家中の時計を合わせて回りました。

夜中に1時間失うので、職場では皆眠たそうにしていた。夏になるにしたがって日の入りの時間が遅くなり、1月には夜9時、10時頃まで明るくなります。バーベキュー、ラグビー、クリケットなど屋外活動が盛んなニュージーランドでは上手に余暇を楽しむ姿がこれからたくさん見られそうです。

それではまた来月。See you!



ブース千尋

昭和レトロコンサート

時代を彩ったの戦後のヒット曲の数々をお楽しみ下さい



「白根と語りつづるファンタジー」
SUF FROM SHOGA

あの頃の頃「朝鮮戦争の頃」昭和二十四〜二十六年ヒット曲集

「白い花の咲く頃」「トンコ節」「江の島エレジー」

日時 十月六日(ケアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三〇分〜十五時

十月二十七日(シニアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三〇分〜十五時

懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください

【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代)

【お問い合わせ】山根(ミント) 中村(ケアハウス)

映画「青い山脈」と主題歌、大ヒットまでの誕生秘話～前編

「昭和」の「青春」といえばと聞かれ、「青い山脈」と答えられる方は多いでしょう。「青い山脈」は昭和24年、作家の石坂洋次郎が朝日新聞に連載していた小説で、東宝が映画化しました。主演は、原節子、池部良、杉葉子、下関出身の木暮実千代でした。戦後の新時代、日本を象徴する映画と称され映画も主題歌も大ヒットし、自転車で先生と生徒が走るシーンや「変しい変しい、私の変人」は、あまりにも有名です。その後、4回もリメイク版が制作されました。やはり一番ヒットしたのが第1作目の昭和24年版でした。主題歌も大ヒットし、第1作目の藤山一郎が歌う主題歌「青い山脈」は、平成元年にNHKがアンケートを行った「日本人が選ぶ日本の歌・ベスト100」で第1位に輝きました。しかし、映画も主題歌もヒットさせるまでに苦戦の連続でした。映画化するにあたり、東宝の重役らは「インテリ作家、石坂洋次郎がブルジョア新聞の朝日新聞に連載している作品をなぜ東宝が映画化しないといけないのか」と猛反対の姿勢を見せ、それに対し、「青い山脈」の映画監督、今井正が「今までなかった男女が手をつなぐシーンを映画で表現すること、それだけでも、この作品には価値がある」と猛反論し、「青い山脈」は制作される事となりました。しかし、映画は完成したものの、当時、東宝は戦後最大と言われた労働争議「東宝争議」の真っただ中で、長谷川一夫、山田五十鈴、高峰秀子らスターたちが「10人のスターの会」を設立して東宝を脱退、「新東宝」を立ち上げ、争議を鎮圧するためにアメリカ軍が出動するという事態まで発展していました。その中「青い山脈」は封切が遅れに遅れ、予定よりも半年も遅れての封切となりました。東宝の名プロデューサーから独立し「藤本プロ」を立ち上げたばかりで、東宝と提携をして「青い山脈」を制作した、藤本真澄は、封切を待つ半年間じっとはしていませんでした。封切に向け、「青い山脈」をヒットさせるために数々の作戦を企て決行していたのでした。この続きは来月、筆をとらせていただきます。

ミントの家 山根 徹

たんぽぽ通信

10月1日発行 176号
ケアハウス王喜の郷 令和3年10月号

ホームページ <http://www.ryokujyukai.jp>

8月の終わりに光市から西洋蜜蜂が2群、王喜の郷にやってきました。2018年、2019年と、日本蜜蜂を飼っていましたが3回、その度にどこかに行ってしまいました。清潔好きゆえ、目や、手が届かなかったことに反発したのでしょうか。

日本蜜蜂と西洋蜜蜂は体つきも巣の作り方も異なります。日本蜜蜂の働き蜂は1.0から1.5センチメートルくらい。小柄で、もこもこ毛があります。それに比べ西洋蜜蜂は足長蜂かしらと思う大きなものも多く、ちょっと大柄でほっそりしています。

9月は熊ん蜂がやってくるので巣箱から目が離せませんでした。熊ん蜂は大きなものは5センチはあろうかというほど。顔も大きくて目鼻もしっかりと観察できます。

これまでは気に留めなかったのですが、蜜源の花も秋には野山に大変多く、雑草も蜜源になるのであちらこちら花盛りの中を蜜を求めて飛び回っています。行動範囲は半径2kmです。私どもの生活守備範囲よりちょっと広いですね。蜂たちのおかげで花は春ばかりではないことを知りました。生き物にそれぞれに特有の生き方があるのはとても興味深いことですね。来春には蜜がとれ、それを皆様 に賞味していただけるよう願っています。

施設長 末谷千秋

10月のお誕生日&行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6 昭和レトロ コンサート (ケアハウス)	7	8 寒露	9
10	11	12 13:30~ ビューティーヘルパー 美容	13 13:30~ ビューティーヘルパー 理・美容	14	15	16
17	18 十三夜	19 13:30~ ビューティーヘルパー 美容	20 秋、土用入り	21	22	23 霜降...
24/31	25	26	27 昭和レトロ コンサート (シニアハウス)	28	29	30

*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
***ビューティーヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。
****イズミ行き: 午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。
*****レトロコンサート: 午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のグループホーム。同じ内容です。参加費300円
***ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

ケアハウス王喜の郷

朝、夕と過ごしやすくなり食欲の秋になりました。
夏の疲れや、コロナによる自粛疲れ等のストレス解消のためにも三度の食事をしっかり摂りましょう。

また、水分も十分補給されて下さい。

8月、9月にケアハウスでは四人の方々が新しく入居されました。ケアハウスの生活に慣れられるまで多少の時間が必要かと思われます。先輩の方々にお願いがあります。暖かく見守り、またお声掛けをして頂けると幸いです。宜しくお願いします。

これから冬に向かい、コロナの第六波も心配です。体調管理に注意されて、コロナ予防の手洗い、マスク着用。三密(密閉、密接、密集)を避けられて下さいね。



介護職員 中村ひふみ

ケアハウス王喜の郷(厨房)

日本と違ってバトナムでは1日暦で新年をお祝します。日正月はバトナム語でテトと言います。日本のおせち料理と同じおにハインチュンはバトナムのチトでは欠かさない伝説的な料理です。ハインチュンを食べる習慣は昔からあります。ハインチュンの葉の緑色は地球を表します。包みこはバトナム国民の連帯を示しています。ハインチュンの材料は餅米、緑豆、豚肉が含まれます。包んだ後で8-11時間ぐら煮込みます。そのまま食べられお揚げると美味しくです。昔日正月はハインチュンを食べるのができましたが現在はバトナムに来たばかりのも味おえます。

厨房 ブイティラン オアン



王喜の郷デイサービスセンター

初めまして。新人看護職員の稲角と申します。

デイサービスで働くのは初めてですが、毎日機能訓練を真剣に頑張っておられる皆さんの姿に、元気と気合をいただいています。

いつも笑顔で話しかけて下さったり、色々なお話を聞かせていただき、私も楽しく一日を過ごしています。生活のちよつとした知恵や工夫をよく教えていただき、「へえ〜！」と驚かされることばかりです。

毎日、皆さんにお会いすることがとても楽しみです。

これから、機能訓練士としても頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



看護職員 稲角 詩織

グループホーム王喜の郷

朝夕、随分と涼しくなり、いよいよ秋めいてきました。

9月10日に入居者の I さんが100歳の誕生日を迎えられました。菅義偉内閣総理大臣、村岡嗣政山口県知事、前田晋太郎下関市長よりお祝いの賞状や記念品が届き、ご本人やご家族の方が驚かれ大変喜ばれていました。

新型コロナウイルスの影響で、派手なお祝いは出来ませんでした。グループホームでも、他の入居者の方や職員でささやかな誕生日会を行いました。

100歳を感じさせないくらいに、元気で、何事にも精力的に取り組まれている I さんを他の入居者の皆さんが見られ、今では「めざせ・・・100歳」の合言葉が、グループホーム内で大流行中です。皆様、これからも元気にお過ごし下さい。

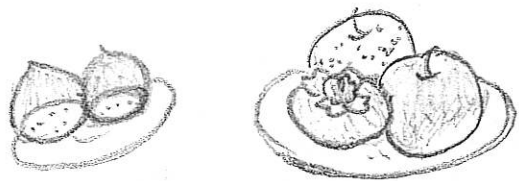
介護職員 宇内 友哉

王喜の郷居宅介護支援センター

私たち王喜の郷の職員はコミュニケーション研修を毎年、年2回受けています。

研修では聞く姿勢や態度、視線、表情に気を付け利用者の話を傾聴して相手の本音を聞き出す。話をする時はネガティブ(否定的)ではなくポジティブ(積極的)な言葉に、短所は長所になるように言い換えて相手が元気になるように話をすることを学びました。

学んだ事を忘れないように実践し、コミュニケーションをしっかり摂って、皆さんとより良い信頼関係を築き今後の支援に繋げていけたらと思います。



介護支援専門員 石川 ゆかり

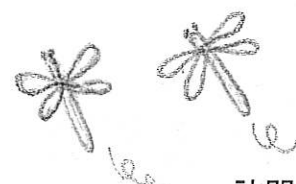
王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

介護の三原則の中に生活の継続性というものがあります。

それは、なるべく生活環境や習慣を変えずに可能な限り今までと近い暮らしを継続できるようにすることです。私たちヘルパーは御利用者の家を訪問してその方の尊厳を守り、日常生活を送れるように支援しています。

そしてヘルパーが訪問することで毎日を安心して過ごすことができ、生活の継続性にも繋がることを意識しながら今日もサービスを提供しています。

ご自宅での生活を続けていかれる中で何かありましたら遠慮なくご相談ください。



訪問介護員 白石 真理子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

朝、夕の寒暖差を感じられる季節となりました。コロナ禍で外出も出来ないため気分転換にと、懐かしの曲でミニコンサートを実施しました。

歌の上手な職員が歌手に扮し場を盛り上げると皆さん喜ばれ、手拍子や身体でリズムを取られたり、また、涙を流される光景も見られました。

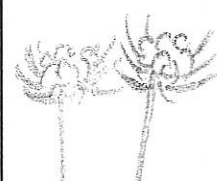
全員で歌うコーナーでは楽しそうに参加されました。童謡など馴染みの懐かしの曲ですがそれぞれ色々な思いで参加された事でしょう。

10月の行事はおやつ作りを予定しています。

俳句作品

稲刈りに 一緒に束ねた 彼岸花

シニアハウス T・H様より



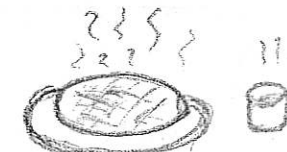
介護職員 野村 恭子

放課後等デイサービス さくら

今月はさくら農園で収穫を終えた畑の野菜の後始末を子ども達と行いました。手慣れた様子でやってくれる子や支援員に教わりながら、自分のペースで抜いた草を見せてくれる子、2~3本抜いて「疲れた」と言って部屋に戻る子と様々でした。

今月のおやつ作りは、お好み焼きでした。自ら進んで取り組んでくれる子もいれば、与えられた事をこなして出来上がりを待つ子、出来上がった頃にやってくる子と色々な姿が見られましたが、皆喜んで「美味しい」と言って食べていました。

まもなく紅葉が始まりますので色づく木々を子ども達と観に行く予定です。



さくら支援員 藤井 雄大